

2022

# 同友しずおか

8

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.525



私の逸品

(株)ウェックス

消防防災の総合的なサポート、  
お客様・仲間への貢献を通じて  
地域社会をより良くする



静岡県中小企業家同友会



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130  
〒424-0857 静岡市東区御幸町1丁目7番6号 FAX/054-255-7620 E-mail/kyouka@shizuoka.jp

## ◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

### ◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

### ◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

### ◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の<sup>きょうじ</sup>矜持と努力を結集し、  
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

## 2025年ビジョンの実践

【第14回】

孤独なあなたへ伝えたいこと

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

2025年ビジョン作成のプロジェクトに委員として参加し、昨年は全県フォーラムで「同友会づくり」をテーマに報告させていただきました。その際に、同友会に入会してから今までの自分を振り返ってみました。入会する以前は傲慢でわがままな人間でした。そんな人間が同友会に入会しても幽霊会員になるのは必然的でした。入会してから数年経ち経営というものを理解できずに右往左往している自分がありました。そんな自分に幽霊会員であったにもかかわらず優しく声をかけてくださったのが伊東支部の市川正樹さん（㈱市川製茶）でした。「心配してたよ」あの時の市川さんの言葉が本気で経営者として学んでいこうというきっかけになったような気がします。

経営者は本当に孤独だと思います。決断や責任がいつでも付き纏います。そんな環境で胸が張り裂けそうな思いをしているからこそ同友会で同じ目線で語りかけてくれる仲間に出会って欲しいと思っている自分があります。

今回全県フォーラムで報告させていただいた時に自分は決めました。この同友会の1ページになろうと。自分の経験が悩み苦しんでいる人のちょっとした気づきのきっかけになれるのであればうれしいと思いました。そしてまだまだこの同友会でさまざまなことを学び気づきを得たい自分があります。まさに「同友会づくり」とは会員一人一人の経験や知識が作り出すことであると感じました。

三浦 大輔氏（㈲三浦水産・伊東支部）



# 消防防災の総合的なサポート、 お客様・仲間への貢献を通じて 地域社会をより良くする

(株)ウェックス (伊東支部)

代表取締役 渡辺 淳司氏



渡辺 淳司氏

熱海市網代を拠点に、消防設備の点検・工事を行う(株)ウェックス代表取締役の渡辺淳司氏を訪問しました。表紙の写真は設備の点検風景です。お客様に安心を提供するため、丁寧な作業を心がけています。

**自分の存在を認めてもらうために  
あがき苦しんだ下積み時代**

父親（現会長）が創業した(株)ウェックスに渡辺氏が入社したのは2010年。ソフトウェア販売の会社に勤めていましたが、27歳で千葉から網代に戻り、異業種から現在の会社に入社しました。リーマンショック後の影響で会社の業績も悪化している中、なんとかしなくてはという危機感から、前職で行っていた飛び込み営業を実施します。当



防災機器の交換

時の社長や先輩社員に自分の存在を認めてもらうために必死で現場に入り、資格を取得した結果、飛び込み営業の成果も出始めて少しずつ周りから認められてくるようになったといえます。

2020年に社長就任し、「自分でやっていけないのか!?!」という不安の中、友人の勧めもあって同友会に入会します。「初めて例会に参加した時、同じ悩みを持つ経営者の姿を見て『俺だけじゃないんだ』と共感して安心したのを覚えている」と渡辺氏。入会後は積極的に例会に参加しており、今年度は全県経営フォーラムの実行委員としても活躍しています。

**お客様・仲間への貢献を通じて、  
地域・社会をより良くする**

経営理念に「人の為を、世の



打合せ風景

為に」と掲げている同社。社員の幸せを考えることで社員と一緒にお客様のことも考えることに繋がり、それが地域貢献に繋がると考えます。

社員構成も10代から60代までバランスよく分かれており、二ヶ月に1回みんなでお弁当会を行ったり（コロナ時はお弁当を配ったり）と風通しが良い社風だと言います。朝礼時には社長が毎日スピーチを行い、終礼で社員一人に代表して語ってもらうなど社員とのコミュニケーションを意識しているそうです。お客様へは半年の点検時に定期的にコミュニケーションを取っており、最近では想定外のことも多いため防災訓練の手伝いや器具の使い方レッスンなどをサービスとして提供して信頼関係を築いていると言います。ま

## (株)ウェックス

〒413-0103 熱海市網代130-1

TEL : 0557-68-5056

URL : <https://www.weccs.co.jp>

設立 1989年

社員数 16名

入会年月 2021年2月

事業内容 消防設備の点検・工事

取材・記事：野村勝也氏

(株)野村商店・伊東支部

会員訪問記

お客様の理想の家づくりを叶えるために  
プレイヤーから社長業へのシフト

(株)ハウスプラン

代表取締役 矢吹 学氏 (三島支部)



(株)ハウスプランで設計・施工した住宅



取材風景 (左、矢吹氏)

沼津市で個人住宅を手掛ける工務店、(株)ハウスプランを訪問しました。

一人でのスタートから社員を雇用するまでに

矢吹氏は工業高校卒業後、神奈川県建設会社と地元工務店での建築の現場を学び、2013年に独立、4年後の2017年に自社を法人化しました。お付き合いのあった職人からの紹介で案件をいただいたことが独立のきっかけだったといいます。「知り合いが家を建てる予定でハウスメーカーと打ち合わせを進めているが、どうもウマが合わないそうなので、相談に乗ってやってほしい」と話を受け、ヒアリングを行い、自分なりの提案を行ったところ、契約いただくことになったそうです。そこからさらに紹介をいただき、初年度2棟の案件を獲得したところからスタートしました。一見、

幸先良さそうですが、営業から設計、現場監督と一人でこなさなければならず、取引先から商業施設リニューアル工事の現場監督なども頼まれ、昼夜問わず5年間がむしろに仕事をこなしてきたと当時を振り返りました。

2017年に法人化した後、正社員を1名雇用。事業が勢いづく、現在6名の正社員を雇用するまでになりました。

転機となる「R+house」事業

建築事業が拡大した2019年、飽きのこない普遍的なデザインで、快適性・省エネ性・耐久性を追求し、手軽に感じられる価格で「建築家住宅」を提供している「R+house」フランチャイズに加盟します。本部の方と二人三脚で「後悔しないための賢い家づくり勉強会」等、家づくりに関するイベントを開催。これまでの紹介案件に頼っていた集客から、イベント集客にシフトします。「顧客層に変化があった。今まで反響を得ることが少なかった中間所得層を掘り起こすきっかけになったのは大きい」と同氏は語ります。

またR+houseでは全国のアトリエ建築家との家づくりが出来、設計と施工、アフターサポートと分業化することで建築にマンパワーを注力することが出来るようになり、効率化にもつながったそうです。

今後は管理職、社長業への注力が課題

R+house事業の効果もあり、コロナ禍でも集客からの成約率が30%を超え、契約棟数が増えている一方、現場が回らないという課題も出てきたといいます。「今後は自身が管理職、社長業に注力したい」と矢吹氏。お客様との打ち合わせで社長の顔が見える安心感が大きいことは否めません。しかし、社長が打ち合わせに参加するのも限界があります。「今後はお客様との打ち合わせは社員に任せ、お客様と付かず離れず良好な関係を保ち、お客様の理想の家造りを叶えてゆきたい」と語りました。

取材・記事：秋山敦氏

(株)秋山建設・三島支部

取材：増田隼人氏

(株)集客デザイン研究所・三島支部

(株)ハウスプラン

〒410-0822 沼津市下香貫清水2140-3

TEL：055-941-6672

URL：https://iiuchi-houseplan.com

創業：2013年 設立：2017年

社員数 6名

入会年月 2016年7月

事業内容 注文住宅、リフォーム

会員訪問記

多くの出会いと情熱を醤油に込める

(株)ハチマル  
代表取締役社長 鈴木義丸氏 (榛南支部)



醤油づくりに欠かせない仕込み桶

**創業197年目の企業を継ぐ**  
(株)ハチマルは文政11年に創業、現在197年を迎えました。代表取締役の鈴木義丸氏が15代目という非常に歴史のある企業です。創業当初からハチマル醤油として醬

油の醸造・販売を営んでいました。そんな中1962年に電線メーカーに勤める親族から「電線加工の要望があるので手伝ってほしい」と相談を受け現在のハーネス事業を立ち上げました。また同時に中小企業近代化促進法が制定



され、昔ながらの醤油づくりから近代化を進めることでハチマルを含め多くの醤油メーカーが「醸造をしない」企業に変化していきま

**もう一度、  
本当の醤油メーカーとして**

時代の移り変わりとともにハーネス事業が中心となり、そして2019年に当時の代表取締役である叔父の鈴木雅夫氏から事業継承。この頃から、ハーネス事業に価格競争や米中貿易摩擦などの要因により危機感を抱いていたというこ

とです。ハーネス事業でも目先の利益ではなく地域の仲間やお客様をサポートする気持ちを大切にしていた同社。数年前から受け入れている地元小学生の工場見学の際に本当の「醤油造り」を見せられなかったことで、鈴木氏の中で「もう一度醸造からやり直す」という気持ちに日に日に強くなったそうです。会長である父とも日々醤油づくりに対する想いを話し合い、

改めて醤油メーカーとして醤油醸造に取り組むことになりました。

**多くの出会いと想いを  
醤油に込める**

社内には当時の醸造を知る社員がすでにいないため、書籍から学ぶだけでなく社長自ら醸造している同業者に醸造再開への想いを伝え指導やサポートを受けました。

醤油を造るなら「これぞ日本の醤油」を目指し、最高の材料から最高の醤油をつくらうと動き始め大豆は丹波の黒豆。これは歴史ある小田垣商店に何度も足を運び醤油の原料として仕入れることができました。小田垣商店の黒豆はこれまで一度も醤油に使われたことがなく、鈴木氏の想いが伝わり新たな挑戦に繋がりました。

その他にも沖縄で塩業を再開したいという想いでできたシママースの「青い海」、日本の食料自給率を高める目的で開発され、パンや製麺に適した超硬質高タンパク小麦の「ゆめちから」、そして静岡にある最高の水ともいえる富士

山の伏流水。この水は富士宮の役所を回り、酒造を回り、朝霧の富士正酒造から水をわけてもらうことができたそうです。

2020年の冬に本格的に動き出した矢先。ニュースでも大きく取り上げられた2021年5月の竜巻による被害で蔵の大部分が倒壊してしまいました。仕込み桶が奇跡的に無事だったということと、ここでも多くの仲間達の助けがあったことで今も続けることができていると鈴木氏は話します。醸造には約2年かかるため、年末にようやく第一号が完成する予定です。鈴木氏は「最初にできた醤油をこれまで関わった多くの人に振舞いたい」と笑顔で語ってくれました。

取材：記事・萩智理氏 (株)ラフト・榛南支部

取材：伊藤義康氏 (イトウシヤティ) (株)・榛南支部

取材：河内崇文氏 (株)スマートブレイン・榛南支部

**(株)ハチマル**

〒421-0524 牧之原市須々木852  
TEL：0548-52-0080  
URL：https://hachimaru.com/  
設立：1949年  
社員数 28名  
入会年月 2017年4月  
事業内容 各種ワイヤーハーネス製造・販売、醤油醸造・販売

# 中小企業家同友会全国協議会 第54回定時総会 in 沖縄 誇り高き「理念」に集い 新しい時代へチャレンジ!

## 新しい時代へチャレンジ!

7月7・8日木・金、中小企業家同友会全国協議会(略称:中同協)第54回定時総会が沖縄で開催。全47同友会と中協から約1200名(静岡17名)が参加しました。

1日目の全体会では開催地沖縄を代表して喜納代表理事から「中小企業の発展は平和があってこそ。総会で同友会理念を再確認し、自社の経営・地域課題に取り組みましょう」とあいさつがありました。その後、主催者を代表して広浜中同協会長、来賓からは内閣府沖縄総合事務局の田中局長をはじめとする3名よりあいさつがあ



全国から沖縄に1200名を超える会員が参加

りました。続いて、中山中同協幹事長より総会議案の提案が行われ、17の分科会に分かれ各社・各県の実践事例を学びながら議案を深めました。

2日目の全体会では、まず総会議案・予算の採択をおこない、沖縄同友会の宮城副代表理事より総会宣言が読み上げられ、満場一致で採択されました。

続いて、「いだ観光(株)の崎原真弓氏による特別報告がありました。型破りなカイディングスタイルから「沖縄のスーパーバスタード」と呼ばれ、激動の歴史を生き抜いた琉球の先人達が大切に語り継いできた真心「肝心(ちむへくる)」。それをテーマに構成された車内での案内は、単なる観光案内に留まることなく、独り語りや唄・三線、琉球舞踊、沖縄空手の実演を交えた独自の演出により「沖縄の真髄」を観光客の心に深く刻み込んでいます。今回の特別報告では、「平和でなければ中小企業の繁栄はありえない」をテーマに一人芝居による沖縄戦の母子のエピソードは、平和と命の大切さを実感するものでした。

その後の特別講演は「ポストコロナと中小企業の果たす役割」新たな地域経済社会への展望」をテーマに、京都橋大学の岡田知弘教授が登壇。日本の中小企業を取り巻く現状から、コロナ禍の下でも地域の中で大きな社会的役割を果たす中小企業家と同友会組織や中小企業振興基本条例に基づき、地域づくりと企業づくりについて実例を挙げながらお話しいただきま

した。  
最後に次回の総会開催地、埼玉同友会の実行委員長、宇梶氏と小松氏の閉会挨拶で2日間にわたる総会が締めくくられました。

**第16分科会 事務局体制の強化・安定  
「入ってよかった! 続けてよかった!」  
と実感できる事務局づくり  
同友会運動を通して実感した誇りと生きがい**

第16分科会は静岡同友会の設置でした。「事務局体制の強化・安定」をテーマに井上代表理事と秋山事務局長が登壇。高木副代表理事兼総務財務委員長が座長を務めました。

はじめに、井上代表理事より、静岡同友会の組織、歴史的背景、特徴などを紹介。会活動の変化やそれに伴う会員と事務局の関係性の変化、役割の重要性に触れ、自身の変化のきっかけを報告しました。2015年の中同協定時総会(岩手開催)の分科会(「会員(主体者)と事務局(専従者)のパートナーシップが同友会運動を推進する上で不可欠である」と再確認したこと



左から高木副代表、井上代表、秋山事務局長

が現在までの取り組みに繋がっていると語ります。「同友会運動の質的向上には会員と事務局とのパートナーシップが不可欠であり、事務局員と会員がお互いに入って

続けてよかったと実感できるような同友会づくりを目指し、生きがいある事務局づくりをしていきたい」と報告しました。

秋山事務局長からは、事務局長になるまでの経緯や事務局体制の変化、事務局長になってから代表役員と共に進めてきた環境整備について紹介。入局当初から離職者が多く中で、問題意識を持ち続け、2017年に事務局長に就任。代表理事と膝詰めで話し合う機会を持ち、「会運営の環境整備」と「事務局の環境整備」の2点に分けて報告しました。お二人からは、2025年ビジョンで掲げている「1500名会員の達成」を共通目標として取り組んでいくことを力強く話しました。グループ討論は「事務局のやりがい・生きがいをつくるために、貴方はどのようなことに取り組むか」をテーマに、各同友会の現状や事務局との関わりを意見交換。代表役員と事務局長がそれぞれの立場を尊重しながら密な連携を図り、前に進んでいくことの重要性が確認されました。

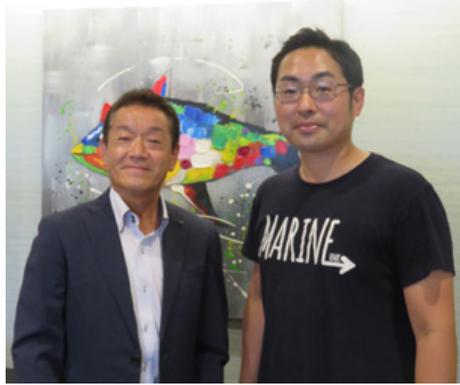


静岡会員も交えてグループ討論

分科会のまとめとして、座長の高木氏から「全く同じようなやり方でうまくいくばかりではありませんが、ひとつずつ課題をクリアし、進めながら考えることによって、各同友会の発展、そして同友会運動の推進に繋がっていきましよう」と分科会の総評をおこない、閉会しました。

# 第36回全県経営フォーラム 記念講演講師表敬訪問

## 仲間と地域の価値を創造し、新しい時代を切り拓く



鈴木 徹氏 中山 幸彦氏

賀観光ホテルは、海の幸に恵まれ、島民の約8割が漁業に関わる日間賀島で1960年から続いています。2018年、ホテルの増築工事が完了し、これからという時にコロナ禍に突入。2020年3月には売上が半減しました。コロナ初期にまず注力したのは資金確保と雇用維持でした。同友会の情報網を活用し、仕事づくりに動くも4月・5月は休業を余儀なくされ、6月には売上が7割減少しました。しかし、立ち止まる時間ができたことで自社の在り方を見つめ直すことができたと言います。「良いものを提供したい」想いで経営してきたつもりが売ること重視の経営になっていたことに気づき方針の修正を決断。団体客から

個人客へシフトすることで安心・安全・快適を実現したり、地元漁業者と連携し料理の食材・メニューを見直すことでサービスの質を向上させてきました。

理念の再確認と実践により、中山氏がどのように経営危機を価値創造の転機としてきたか、ぜひ全県経営フォーラムに参加し、新しい時代を切り拓く経営を学び合いましょう！詳細は案内パンフレットや静岡同友会HPをご覧ください。

7月イベントロゼセミナー  
社員の感性を最大限に発揮し  
新たなチャレンジに繋げる  
企業づくり

7月22日(金) 同友会会議室&ZOOM



河原崎 哲哉氏

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との

県下11支部の会員が一堂に会し、経営を学ぶ会う全県経営フォーラム。本年度は11月18日(金)に静岡市にてリアル開催、「やっちゃえ同友会」新たな時代を切り拓け」をメインテーマに8つの分科会を企画しています。6月24日(金)に、記念講演で「登壇いただく中山幸彦氏(有)日間賀観光ホテル・代表取締役/愛知同友会)を鈴木徹実行委員長と事務局で訪問しました。コロナ禍を乗り越えた中山氏の企業づくりの一部をご紹介します。

### コロナ禍が自社の在り方を見つめ直す転機に

知多半島から高速船でおよそ20分。日間



ホテルのロビーで打合せ



日間賀観光ホテル

※(有)日間賀観光ホテルのHP・インスタグラムのQRコードです。ぜひアクセス頂き、ご覧ください!



ホームページ



Instagram

の交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。7月は会員・オブザーバー合わせて23名が参加しました。富士宮市北山でポリエチレンラミネート製造(医療関係・建材・家庭雑貨・食品関係)をおこなうシンコーラミ工業(株) 代表取締役の河原崎哲哉氏が登壇。「感性を磨こう」を経営理念に掲げ、チャレンジを続ける同社。労使見解に触れながら、自由で活発な企業風土づくりの根幹である「やらせるのではなく、やりたくさせる」「少数精鋭ではなく、多数精鋭を目指す」「仕事の出来不出来ではなく、尊敬される存在であるかを重視する」など社員との共育に對する取り組みや考え方を報告しました。バズセッションでは「同友会での学びをどのように活かしていますか?」をテーマに、同友会での学びや本気本音で語り合う仲間の重要性を再確認しました。

今回は8月26日(金)に小塚辰巳氏(小塚建設(株) 代表取締役/榛南支部)が報告します。ぜひお知り合いの経営者にご参加ください。

8月16日(火)	第19期経営指針を創る会⑤ (19:00 事務局&ZOOM)
17日(水)	志太例会 (18:30 葉梨地区交流センター)
18日(木)	中遠例会 (19:00 未定) 富士例会 (19:00 富士市交流プラザ第一会議室&ZOOM) 榛南例会 (18:45 きてご榛原&ZOOM)
19日(金)	沼津納涼例会 (18:30 沼津リバーサイドホテル) 第7回全県経営フォーラム実行委員会 (13:00 ZOOM)
22日(月)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM)
23日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
24日(水)	伊東例会 (19:00 サザンクロス) 外国人正社員雇用促進セミナー (18:00 ZOOM)
25日(木)	2022組織強化・会員増強全国交流会 (14:00 ZOOM)
26日(金)	イントロセミナー (19:00 事務局&ZOOM) 県理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
30日(火)	グループ長研修 (19:00 ペガサート&ZOOM)

9月1日(木)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
3日(土)～4日(日)	第19期経営指針を創る会⑥ (9:00 沼津開催を予定)
6日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:30 事務局&ZOOM)
7日(水)	県経済産業部との意見交換会 (15:00 静岡県産業学交流センター ペガサート7F小会議室)
8日(木)	浜松例会 (19:00 浜松子ども館)
9日(金)	富士宮例会 (19:00 未定)
10日(土)	榛南30周年記念式典 (15:00 牧之原市史料館2階ホール・静波サーフスタジアム)
13日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
14日(水)	御殿場例会 (19:00 未定)
15日(木)	中遠例会 (19:00 未定) 富士例会 (19:00 未定)
15日(木)～16日(金)	第50回青年経営者全国交流会in兵庫 (13:00 神戸ポートピアホテルほか)



《 あなたのスケジュールノートに  
必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1060名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
のむら 野村 直生	(株)楽し屋元気商店・飲食業(居酒屋・焼肉)	三島	高木 基
ほんま 本間 優	AiraM group・美容業 飲食業	沼津	齋藤 慎吾
さの 佐野 和久	建都リフォーム・建築業(新築・リフォーム)	富士宮	星谷 宣安
なかがわ 中川 明洋	センビキヤ・塗装業(区画線(ライン引き))	富士宮	宇佐美健介
さの 佐野 継太	(株)静岡緑化・造園業(造園・土木工事)	静岡	久高 洋司
ながた 永田 治	ネオテクノス(株)・建築業(空調・給排水設備設計施工)	浜松	勝山 邦子

名義変更による新名義人(敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
いわさき 岩崎 勲	富士宮信用金庫・金融業(預金・融資・為替取引)	富士宮	西川 充芳

※新会員の写真はe.doyu「ユーザー名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

静岡同友会 2022年上期景況調査 HP・e.doyuより集計冊子を配信しています



2022年5月から6月にかけて実施した「会員企業の景況調査」では、343社の会員の皆様からご回答を頂きました。ご協力いただき、ありがとうございました。県政策委員会と静岡大学先生方のもと集計データをまとめた冊子が左のQRコードよりご覧頂けます。(HP・e.doyu 掲示板からもアクセスできます) ※以下本文より結果を一部抜粋。

- 全 体：回復途上で新たな制約に直面した日本経済～回復の歩みを止めない活動の継続を～
- 製 造 業：価格転嫁正念場！パンデミックをきっかけとした需給のアンバランス解消への期待を  
中国ロックダウンとウクライナ紛争が覆す
- 建 設 業：仕入価格高騰への対応に難しい舵取りを迫られる
- 流通・卸小売業：仕入価格上昇がさらに進むが価格転嫁は進まず  
今こそ同友会での学びと実践の真価が問われる
- サービス業：原材料の高騰が経営を圧迫 デジタルシフトする事で業務の効率化を図り人材戦略につなげる

【項目】①日本経済動向、②静岡県経済動向、③調査結果概要、④業種別景気動向、⑤地域別景気動向、⑥規模別景気動向、⑦【特別調査】i. 社会情勢の具体的な経営への影響と対応について、ii. 5月以降の社会情勢変化にあたりアフターコロナに向けて実施していること iii. 県、市町、金融機関など支援機関への要望